

労働保険特別会計雇用勘定 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	2,284	3,694	1,409	未払金等	178	155	△22
未収金	59	65	5	前受金	150	202	51
貸倒引当金	△21	△23	△1	賞与引当金	2	2	0
有形固定資産	145	122	△22	退職給付引当金	67	67	△0
国有財産	139	116	△22	負債合計	399	427	28
(公共用財産除く)							
物品	5	5	△0	< 資産・負債差額の部 >			
その他	807	805	△1	資産・負債差額	2,882	4,242	1,360
資産合計	3,282	4,670	1,388	負債及び資産・負債差額合計	3,282	4,670	1,388

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	1,889	2,882	△161
本年度業務費用合計(A)	△1,912	△1,853	△59
財源(B)	2,908	3,231	323
その他	△2	△17	△15
本年度末資産・負債差額	2,882	4,242	1,360

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
人件費等	42	43	1
失業等給付費	1,392	1,354	△37
雇用安定等給付費	57	55	△2
補助金等	129	123	△6
委託費等	143	140	△2
その他	147	136	△10
本年度業務費用合計	1,912	1,853	△59

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	1,077	1,560	483
財務収支	-	-	-
本年度収支	1,077	1,560	483
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等	△926	△1,357	△431
資金残高等	2,133	3,491	1,357
本年度末現金・預金残高	2,284	3,694	1,409

平成17年度について

資産合計は1兆3,883億円の増加、負債合計は281億円の増加、資産・負債差額は13,601億円の改善、業務費用は591億円の減少となりました。資産合計の増加の主な要因は現金・預金の増1兆4,094億円であります。負債合計の増加の主な要因は前受金の増512億円であります。資産・負債差額の改善の主な要因は、業務費用合計と財源の差額1兆3,780億円であります。業務費用の減少の主な要因は、失業等給付費の減378億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
 - (資産)
 - 現金・預金…決算剰余金 +1兆5,245億円
 - 資金の歳入繰入 △1,512億円
 - 有形固定資産…価格改定 △180億円
 - (負債)
 - 前受金…国庫負担の超過受入額 512億円
- 業務費用計算書
 - 失業等給付費…支払備金繰入額 △522億円
- 資産・負債差額増減計算書
 - 本年度業務費用合計と財源合計との差額 +1兆3,780億円
 - (上記(A) + (B)により算出)
 - ⇒企業会計の「当期純利益」に相当
- 区分別収支計算書
 - 業務収支…徴収勘定からの受入 +3,533億円
 - 失業等給付費 △900億円